

「医療用等ラジオアイソトープ製造・利用専門部会」 に向けた基本的考え方(案)

原子力委員会委員長 上坂 充

- 1. RI製造方法のベスト・ミックス
(研究炉・小型 / 中型加速器)**
- 2. IAEA中心の国際的連携**
- 3. 核・放射性廃棄物から照射ターゲット生成
も含めた、完全国内サプライチェーンの構築**

Best Mix

エネルギー



RI製造



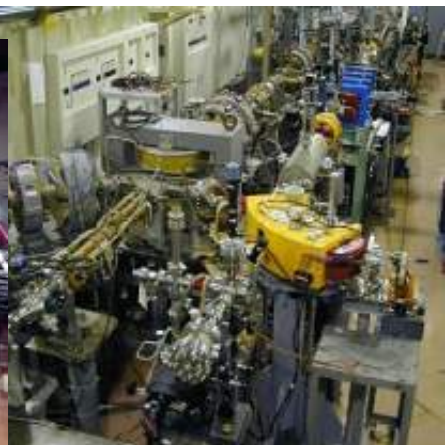
JRR-3



常陽



サイクロトロン(QST) 電子ライナック(東大)



第65回IAEA総会における原子力委員会主催サイドイベント

α線薬剤の開発とアイソトープの供給 －アクチニウム225と国際機関における役割の可能性－

(Development of Alpha-emitting radiopharmaceuticals and the Supply of the Isotopes:
²²⁵Ac and the possible role of the international organization)

- IAEA幹部、メガファーマ、Ac-225の製造・研究開発・流通等について先進的な取組を推進している各国機関、Ac-225製造に係る研究開発を行う日本の機関、新興国の研究者が現状や課題、今後の期待について発表。
- 会議はオンラインとウィーン現地のハイブリッド形式で開催。各国・地域及び国際機関からオンラインで160名超、現地で30名超、計約200名が参加（米、英、仏、加、尼、中、韓、IAEA、OECD/NEA等）



上坂委員長による開会挨拶



IAEA物理化学部門 部長
メリッサ・デネケ氏によるスピーチ



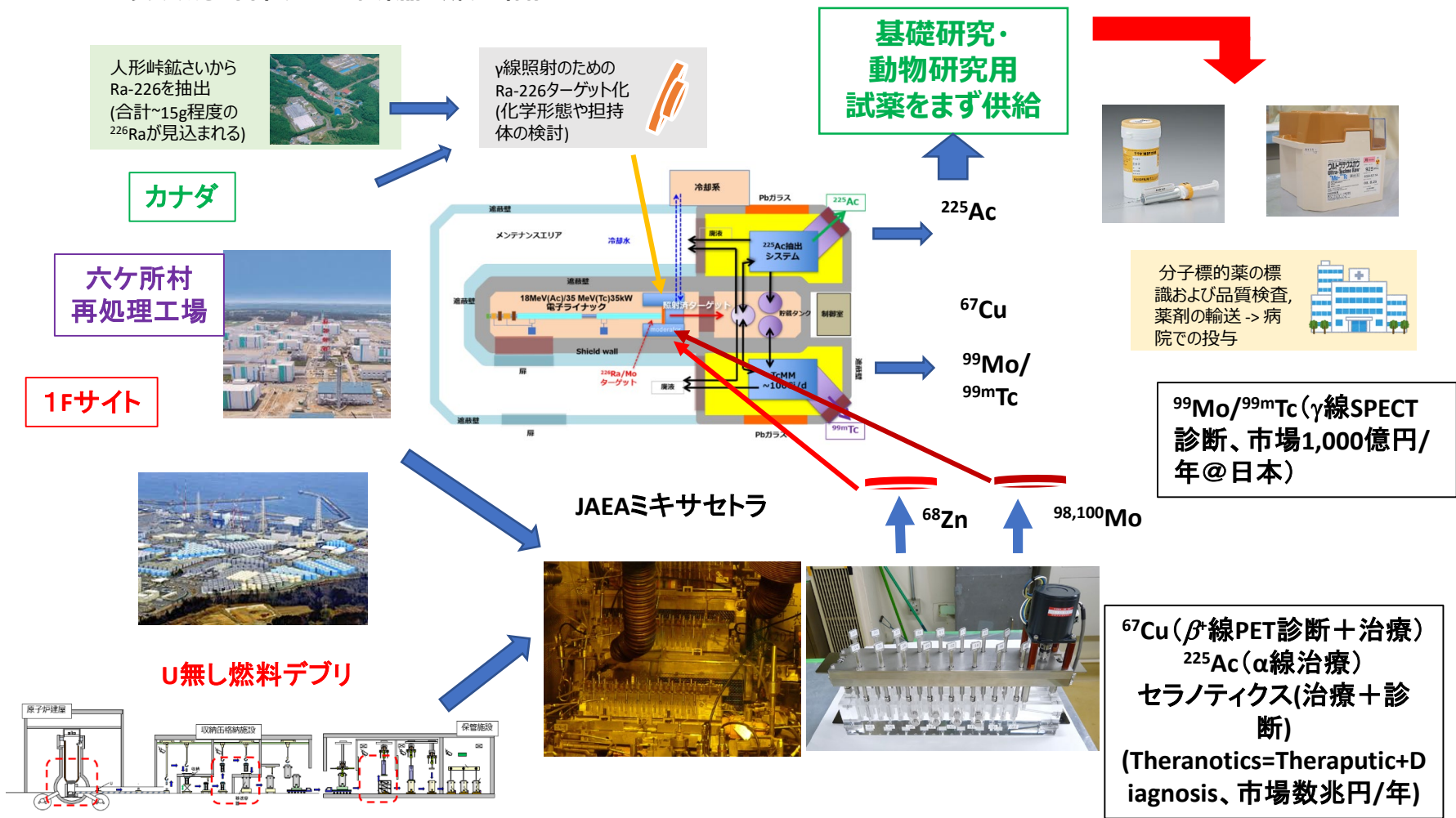
ノバルティスファーマ
アンドリュー・ケイヴィ氏によるプレゼン
テーション



ユーラトム
マルガリータ・グラール氏によるプレゼンテー
ション

核のゴミからがん診断・治療薬創製

<< ウラン鉱さい由来のAc-225医薬品生成の全体像 >>



Perfect Supply Chain